

授業科目名		担当講師名		対象学年	
精神看護学概論		濱田 秀子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(15)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	対人関係、精神保健医療福祉の法制度・歴史				
到達目標	精神看護学の位置づけと精神看護の目的、対象、看護の役割について理解する。 また、対象に応じた心の健康の保持・増進への看護の重要性と方法について学ぶ。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	精神看護学の基本的な考え方 個別性と普遍性 人と人との関係性の理解
2	精神障害の捉え方 精神を病むということは 疾患と病について ICFモデルを用いた支援方法
3	精神看護の対象・機能・役割 精神看護の対象 ナラティブケアの重要性 精神に障害を抱える対象の強み リカバリースとレングス、レジリエンス、イニシアティブ エンパワーメントを意識した看護 権利擁護とソーシャルインクルージョン
4・5	精神医療・保健・福祉の変遷 精神看護の役割 精神医療・看護の歴史・人権・倫理
6	精神保健福祉法、精神保健指定医の役割
7	「精神を病む対象に行う看護」グループワーク
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 医学書院 看護学生のための心理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
精神看護学Ⅰ（精神保健）		濱田 秀子		2年次	
授業形態	単位（時間）	教室等	学期	曜日	時限
講義	1（16）	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	ストレスコーピング、コミュニケーション、メンタルヘルス、地域生活支援				
到達目標	精神保健の意義や目的・精神の発達について理解し、ライフステージにおける発達課題をと各期の精神保健問題及びその対応、多職種連携、協働の必要性について学ぶ。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	精神の健康の概念 精神障害の一次予防、二次予防、三次予防 精神保健における危機 危機介入
2	発達課題を達成していく中でのこころへの影響 GW 自殺念慮・自殺企図がある対象への理解
3	心の機能と発達
4	災害時における精神保健医療活動
5	リエゾン精神看護 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス 災害時のメンタルヘルス
6	社会資源の活用とケアマネジメント
7	障害者に対する生活支援制度 精神障害者が地域で社会生活を送るうえで必要な支援
8	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 医学書院
成績評価の方法	精神看護学Ⅰ（疾患障害、治療）と合わせて筆記試験
備考	精神看護学Ⅰ（疾患障害、治療）を合わせて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
精神看護学Ⅰ (疾患障害・治療)		難波 理志		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (14)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義				
学修内容	精神疾患／精神疾患の分類 症状 治療				
到達目標	精神疾患、症状の特徴および治療法を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	精神障害の理解 精神障害の医学モデル
2・3	精神疾患の分類 ① 外因性精神病・心因性精神病・内因性精神病 ②国際疾病分類 気分障害、不安障害 神経発達障害 知的能力障害の症状・治療・検査 生理的、行動症候群
4・5	主な精神疾患 ①アルツハイマー病／脳血管性認知症／ピック病 ②内分泌性精神症候群 ③産科と精神病（マタニティブルー） ④アルコール依存／コルサコフ症候群／覚醒剤中毒⑤てんかん⑥統合失調症 歴史／プロイラー、シュナイダー・クロウの主要症状／病型と症状／経過 と予後／治療 ⑦躁うつ病 ⑧神経症／心身症と神経症の違い／心因反応／ストレス関連障害 ⑨睡眠障害
6・7	精神症状と状態像のとらえ方 ①アンビバレンツ②妄想／思考の流れ方の異常／自我意識障害③昏迷／せん 妄／健忘 主な精神科治療 ②薬物療法 抗精神病薬／デポ剤／錐体外路副作用／抗不安薬／プラセボ効果／電気シ ョック療法 ③精神療法 精神行動分析療法／力動的な精神療法／森田療法／内観療法 ④行動療法・活動療法 認知療法／SST／作業療法
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門基礎Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院
成績評価の方法	精神看護学Ⅰ（精神保健）を併せて筆記試験
備考	精神看護学Ⅰ（精神保健）を併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
精神看護学Ⅱ		濱田 秀子		2年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	対人関係/観察の視点/看護理論を活用した対象理解				
到達目標	「精神看護に共通する看護」として対人関係のもち方、観察の視点について学び、対象を理解する力を身につけることができる。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	精神看護学の視点でのケア
2・3	ケアの原則と方法
4	関係性のアセスメント 自己・他者理解 病的体験の理解 プロセスレコードの活用
5	ペプロウ（治療的対人関係）・トラベルビー（人間対人間看護） 患者看護師関係の発展過程
6	患者－看護師関係における感情体験 対処の難しい場面 病的体験の理解 DVD
7	病的体験の理解
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 医学書院 看護実践のための根拠が分かる精神看護技術 メヂカルフレンド社
成績評価の方法	筆記試験
備考	

平江授業科目名		担当講師名		対象学年	
精神看護学Ⅲ		村田めぐみ 有村 祐志 濱田 秀子		3年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師・精神保健福祉士として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	急性期・回復期・慢性期の看護				
到達目標	精神に障害のある対象の症状の現われ方、言動の特殊性について学び、看護者の対象に対する「関わり方」「看護」を理解することができる。				

授業計画

No.	授 業 内 容	
1	入院治療の目的と意味 患者の権利 アドボカシー	村田
2	精神の健康とマネージメント	
3	不安症状がある患者への看護 服薬時の看護	
4・5	統合失調症・躁病・うつ病患者の看護 DVD	
6	検査・治療における看護	
7	回復を助ける支援 地域におけるケアと支援	
8・9	精神に障害を有する患者、家族への支援 (精神保健福祉士)	
10	ヘンダーソンの枠組みをベースにした看護過程 精神看護における観察・アセスメントの視点、統合失調症、精神疾患患者の特性、事例紹介	濱田
11・12・13	協同学習 (グループワーク)	
14	協同学習 (関連図の作成) (グループワーク)	
15	終講試験・まとめ	
履修上の要件		
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 医学書院 看護実践のための根拠が分かる精神看護技術 メヂカルフレンド社 ヘンダーソンモデルにもとづく精神科看護過程 医歯薬出版株式会社	
成績評価の方法	筆記試験、看護過程	
備考		